仙台駆け込み寺

No.15
2021年12月1日

いろは横丁相談室だより

相談ボランティアさん100名突破

2018年4月に開設した仙台駆け込み寺は2021年11月に、おかげさまで相談員ボランティアさんの登録が100名を超えました。

仙台（一般）58名　（内　大学生9名）
仙台（婦人）37名　石巻ハウス15名
合計　110名

登録の経路は仙台ボランティアセンター、みやぎNPOプラザ、仙台駆け込み寺ホームページ、知人の紹介です。この頃は大学生や社会人男性のボランティアが増えている傾向です。

相談員ボランティアが多いので、当番を控えている方もいると思いますが、夜間の当番も始まりましたので遠慮せずに当番の申請をお願い致します。

第2、3回ゆるっとおしゃべり原っぱ

11月10日、24日に「ゆるっとおしゃべり原っぱ」を開催しました。リピーターさんもできて楽しい雰囲気です。





コラム　『人と人が出会うとき』

生きている限り、と言ったら少し大げさなんですが、どんな場所にいても、その場所にふさわしいことを求められているような気がします。家では妻や母として、あるいは夫や父や子供として過ごすし、会社では部長や課長、はたまた営業やら何やら、仕事上求められる役割を生きている。それが達成感や充実感をもたらすときもあるけれど、逆に窮屈だったりつまらなく感じるときもあるなぁと。

役割とかしがらみが何もない、ただの自分になれる場所はないものか。

本当にそうしようと思ったら、山奥に行って仙人になるか、砂漠の真ん中に行くか、インドに修行の旅に出るか、とにかく誰とも関わらないようにするしかない。

そんなことはなかなか実現できそうにないし、実現したとしてもそのうちさみしくなるんじゃないかなと思う。

駆け込み寺はゆるやかに人とのつながりがある。けれど自分を定義するものは何もない場所。

ただの人と人が出会うとき、そこに何が生まれるのか。

そのときに人は人に何ができるのか。

それが知りたくて相談員をしています。

電話をかけてきてくれる人も、直接会いにきてくれる人も、できるだけ「ただの人」になってほしい。お話をする時間が、少しでもありのままの自分自身でいられる時間であったらいいなと思います。　　ようこ

石巻ハウスお茶会でクリスマスリース作り

11月23日のお茶会でクリスマスリース作りを行いました。おかげさまで楽しいリース作りになりました。町内会長さんもご参加くださって、とても良いPRができました。これからも地域の方に寄り添った活動をしていきたいと思いますので宜しくお願い致します」







閖上駆け込み寺　お茶っこコンサート

11月16日、閖上駆け込み寺は先月に続きコンサートです。お茶っこでは踊りも飛び出し楽しい集いになりました。





11月の相談状況

【相談内容別】

・ＤＶ	0件
・家族の問題	5件
・ストーカー	0件
・家庭内暴力	0件
・心の問題	9件
・仕事の問題	1件
・学校の問題	0件
・病気の問題	0件
・いじめ問題	0件
・引きこもり	0件
・恋愛問題	1件
・お金の問題	4件
・その他問題	1件
合計	21件

【年代別】

・10代	0件
・20代	1件
・30代	9件
・40代	3件
・50代	4件
・60代	2件
・70以上	1件
・不明	1件
合計	21件

【男女別】

・男性	11件
・女性	10件
合計	21件

11月のボランティア参加、寄付情報

ボランティア参加人数　63名

【寄付】

（みんなの食堂）　とろろそば、カレーうどん
ひとめぼれ、もち米、あずき、かぼちゃ、ティッシュ
（おしゃべり原っぱ）　大根、お米、お花、茶菓子

ありがとうございました

No.15
2021年12月1日

いろは横丁相談室だより

相談員の吉田さんの記事が河北新報に掲載されました

２０２１年（令和３年）１１月２９日（月曜日）

こども　Evening Cafe

ウォロな世界

日本駆け込み寺仙台支部

相談者が行動起こす力に

吉田　計さん（61）

「困りごとの救急総合病院」として、話しにくい悩みに耳を傾け相談者の自立を支援する公益社団法人「日本駆け込み寺仙台支部」（仙台駆け込み寺）。相談室は仙台市青葉区一番町の壱弐参（いろは）横丁の一角にあり、家庭トラブルや金銭問題などさまざまな悩みを持った人が訪れます。



無料相談の活動を続ける吉田さん＝仙台駆け込み寺の相談室

吉田計さん（61）は産業カウンセラーと社会福祉士の資格を持ち、1年半前から仙台駆け込み寺で、傾聴と知識に基づくアドバイスの両面で支援に当たっています。

東日本大震災をきっかけに「心の復興」に役立ちたいとの思いから、産業カウンセラーの資格を取得。傾聴ボランティアとして経験を積む中で、聞くだけでは解決しない問題も多くあると気付き、より幅広い知識を身に付けようと社会福祉士の資格も取りました。

相談者から寄せられる問題の解決方法について、吉田さんは一方的に伝えるようなことはせず、本人の決断に委ねるそうです。「現状を変えたいと相談に来る人は、問題解決のため自ら行動する力を持っているはず。相談者の可能性を信じている」と話します。

今抱えている問題だけでなく、その人の人生が良い方向に向かうにはどうすべきか。相談ボランティアが果たす役割を考え、在り方を模索し続ける吉田さん。「悩みを打ち明けることで気持ちが整理され、解決につながることが理想。それが難しくても、行動を起こす後押しをしていきたい」。仙台駆け込み寺を訪れる人たちが、自ら人生を切り開いていけるよう支援を続けていく。吉田さんは力強く話します。

（認定NPO法人杜の伝言板ゆるる　吉田若葉）

【Volo（ウォロ）】とは古典ラテン語で「喜んで～する」「～したい」を意味する。英語Will（意志）の語源voluntas（ウォルンタース）は、【Volo（ウォロ）】に由来する。古典ラテン語には、【Volo（ウォロ）】との区別がなく【ウォロ】と発音。ちなみに【Volo（ウォロ）】に命令法はない。